

下野市立国分寺小学校

1 学校課題

文章を解釈し、自分の思いや考えを表現できる児童の育成
～国語科の「読むこと」（説明的な文章）の指導を通して～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

昨年度までの研究では、教師によるファシリテートや ICT の活用を中心に、「学び合い、高め合える児童の育成」について研究してきた。昨年度実施した学力向上の授業研究や児童のテスト結果から、より研究内容を焦点化して、全校での共通理解のもと研究を進めていく必要があることが明らかになった。教師が足並みを揃えて指導していくことが子どもの変容をより正確に把握することにつながり、研究が充実したものになっていくと考える。

(2) 研究の仮説

説明的文章を読む際に、根拠をもとに筋道を立てて筆者の考えを捉えて、自分の考えを相手に伝わるように表現できる指導方法を工夫すれば、論理的な思考力や生活で生きて働く力が育つであろう。

3 研究内容

(1) 目指す子ども像に迫るための課題と具体的な手立て

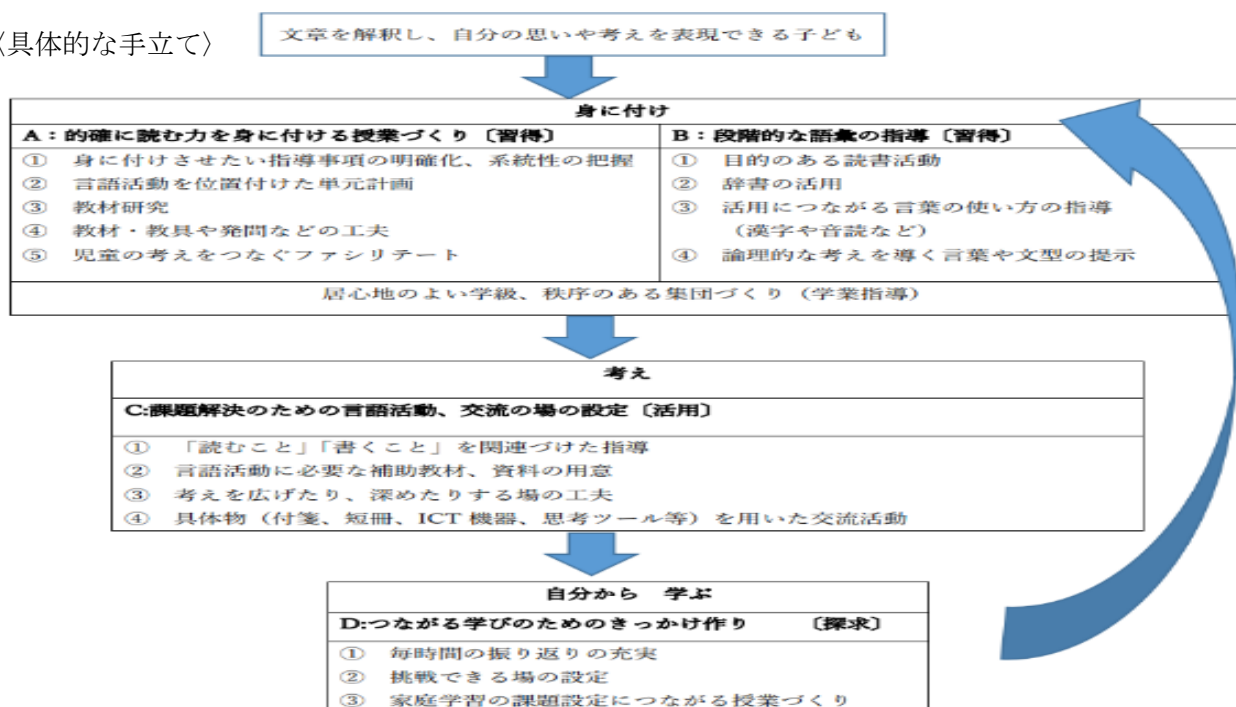
〈目指す子ども像〉

文章を解釈し、自分の思いや考えを表現できる子ども

〈目指す子ども像に迫るための課題〉

- ① 的確に読むために必要な力を明確にし、児童が確かな知識や技能として習得できるような、系統的、段階的な指導を行うことが必要である。
- ② 読みの力や考えの表現など学びを深めるために、書く活動との関連を図り、習得した「的確に読む力」を活用して、課題解決のための言語活動を充実させたい。
- ③ 相手に伝わるように自分の思いや考えを表現するためには、目的ある読書活動や辞書の活用を通して言語能力を支える語彙の段階的な獲得が必要である。

〈具体的な手立て〉



(2) 授業研究の足跡

月/日	種別	学年	単元名	課題追究のための手立て
5月中旬	低ブロック	2年	「たんぼぼのちえ」	A②、A④
5/31	校内研修	2年	「たんぼぼのちえ」	A②、A④
6/28	S&U	6年	「笑うから楽しい」 宇大附属小 見目 真理先生 による師範授業	A①、B④、C①
7月中旬	高ブロック	6年	「時計の時間と心の時間」	A①、B④、C①
9月後半	中ブロック	3年	「すがたをかえる大豆」	A②、B④、A④
10/4	校内研修	3年	「すがたをかえる大豆」	A②、B④、A④
10月中旬	中ブロック	4年	「世界にほこる和紙」	A②、C②
11月後半	低ブロック	1年	「じどう車くらべ」	A②、A④
11月後半	高ブロック	5年	「想像力のスイッチを入れよう」	A②、A④
12/6	S&U	5年	「想像力のスイッチを入れよう」	A②、A④
12月中旬	特別支援	4年	自立活動	A⑤、C④

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- ① 説明的な文章における指導の系統性を把握し授業を計画したことで、指導事項が明確になり、身に付けさせたい力を意識した指導に生かすことができた。
- ② ブロックで共同研究を進め、低・中・高学年が1つずつ公開授業を行ったことにより、学びのつながりをより実感し、効果的な指導方法や教材・教具について学校全体で理解を深めることができた。
- ③ 指導と評価の一体化を図るため、細案を作成し、単元計画の見直しや評価計画、努力を要する児童への手立てなど、単元全体を見通した指導への意識が高まった。

(2) 課題

- ① 今年度は「習得」を重点的に取り組んだので、来年度は確実な「習得」に加え、学んだことを「活用」していけるように授業を計画する必要がある。
- ② 語彙を豊かにするための日常的な指導の充実を図る必要がある。
- ③ 深い学びが成立した姿を共通理解し、課題解決のための交流活動や、考えをつなぐファシリテートを意識した授業を実践する必要がある。
- ④ 主体的な学びにつながる言語活動の設定を行う必要がある。

